

はじめに

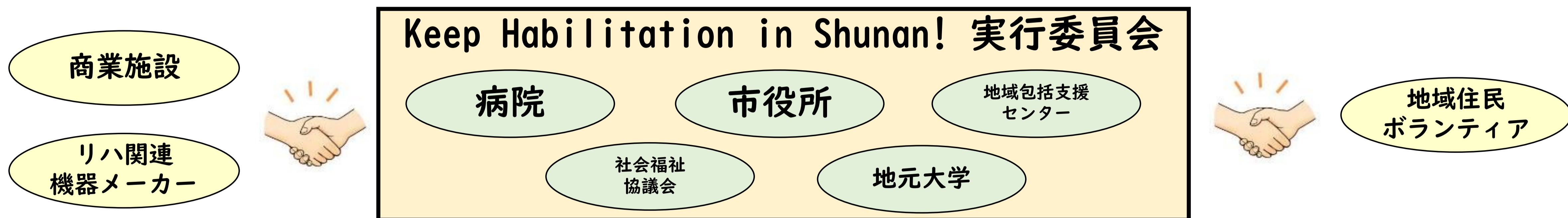
2018年9月「商業施設内の空き店舗を利用した健康増進啓発活動」について、地域包括支援センターに提案。

2018年10月～2019年1月

市役所、地域包括支援センター、社会福祉協議会、地元大学等から集まった有志と共に、数回の検討会を開催した後、「Keep Habilitation in Shunan! 実行委員会」を立ち上げる。

2019年3月15日 第1回目となる啓発活動を開催。（以後毎月15日に開催中）

Keep Habilitation in Shunan! 実行委員会とその活動の目的



理念：「地域のみんで安心と生きがいを創り（作り）出す。」

- ①心身の健康づくりを通じて、周南市民全体の健康寿命の延伸を目指す。
- ②地域住民の「自助」「互助」の意識を高める。
- ③安心・生きがいを感じることができる環境・場所・サービスをつくる。

啓発活動の内容

場所：イオンタウン周南内の空き店舗
開催日・開催時間：毎月15日（G.G感謝デー）
10:00～15:00

定期実施内容

- ①体成分計測（InBody使用）
- ②血圧測定
- ③血管年齢測定
- ④相談対応



啓発活動の状況

開催月	参加者数（人）
2019年3月	94
2019年4月	121
2019年5月	102
2019年6月	68

参加者数

4ヶ月合計
延べ385名



職種	参加人数（人）	職種	参加人数（人）
理学療法士	17	管理栄養士	3
介護支援専門員	13	薬剤師	3
保健師	12	言語聴覚士	2
作業療法士	9	カイロプラクター	4
看護師	8	機器メーカー	3
社会福祉士	6	ボランティア（個人）	9
歯科衛生士	4	ボランティア（団体）	8

参加者

スタッフ数

4ヶ月合計
延べ101名



啓発活動の成果 ～参加スタッフの声をもとに…～

①対地域住民



- ・自身の健康に対する意識が高まりつつある？
計測の結果を受けて、1ヶ月〇〇してみた。
〇〇したほうが良いと言われたので、がんばって続けている。
〇〇なんだけど、どうしたら良いだろうか？
今日は栄養士さんはいないの？相談したかったのに…

②対参加スタッフ

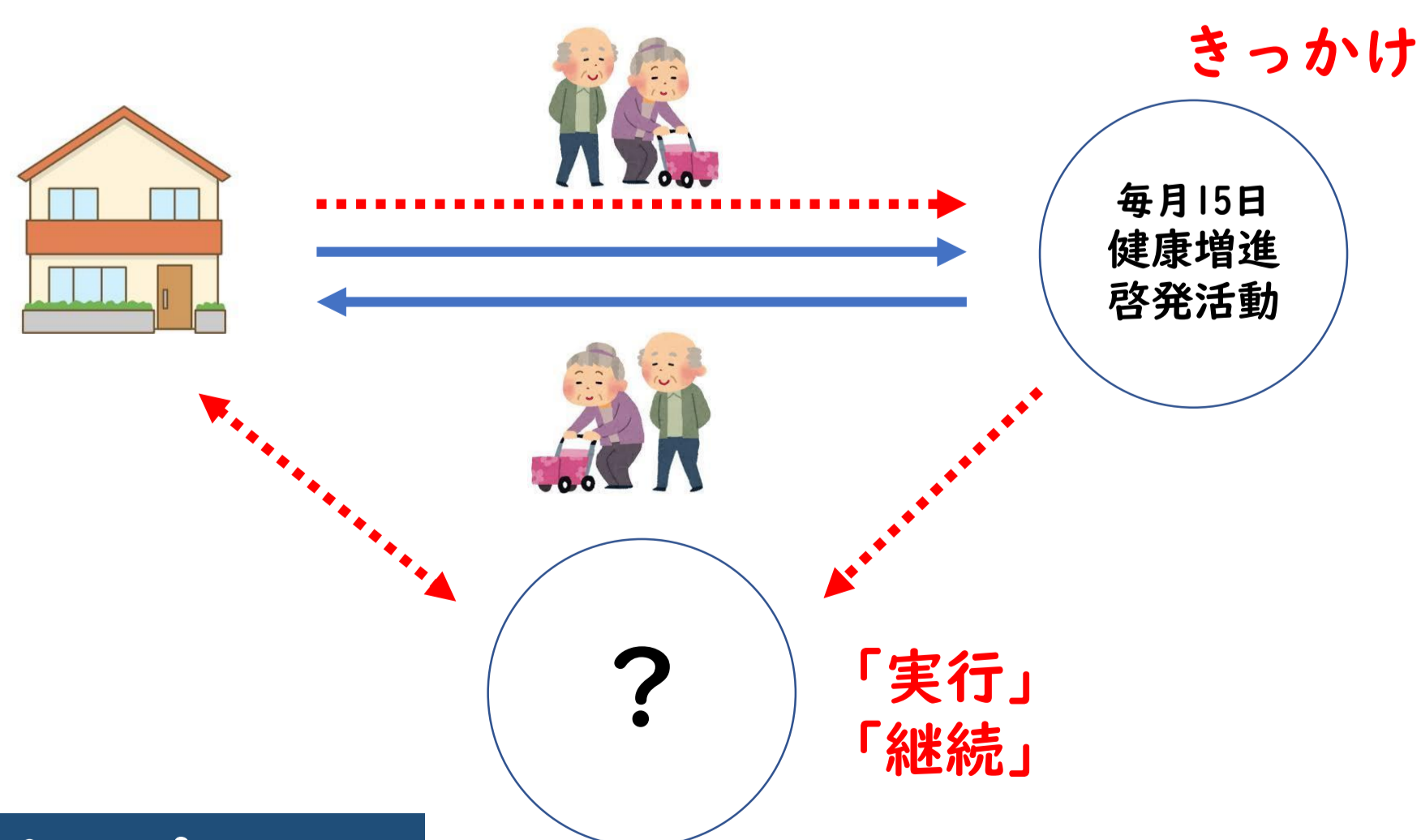


- ・居場所の1つとして定着しつつある？
- ・専門職のネットワーク作りの場としての機能を持ちつつある。
行政機関で働く医療専門職と民間病院で働く医療専門職のつながり
保健・医療・福祉・介護のつながり
出会いの場



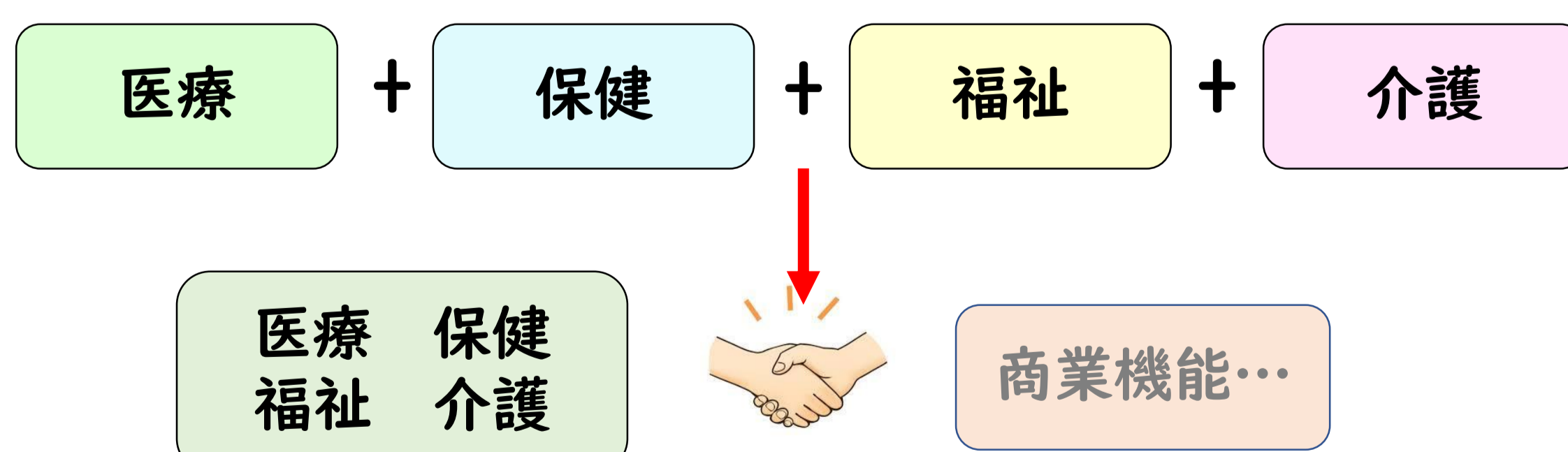
課題①

「（啓発後の）次のつなぎ先は？」



課題②

「それぞれの役割とは？」「それをどう融合させる？」



まとめ

- ・現在行っている活動は、地域住民の健康への意識を向上させるきっかけとなる可能性がある。
- ・参加する専門職にとっては、ネットワーク作りの場となっている。
- ・「きっかけ」としての役割で終わるのではなく、「実行」「継続」を支援できる体制作りが必要である。
- ・参加スタッフがそれぞれの役割・立場をどのようにとらえるかが重要であり、視野を広げることが必要である。